

昨日529全国学生統一行動に600名決起 六月学園ストへの強固な意志統一を獲ち取る!

昨日、5.29全国学生統一行動、全関西学生総決起に600名決起し、6月反安保学園セネストへの圧倒的意志統一を獲ち取る!

全市大の学友諸君!我々は昨日の5.29全国学生統一行動に六百名の大衆的隊列でもって決起し官憲の不当な断崖を一切許さず圧力的に御道筋デモンストレーションを貫徹し、6月反安保斗争に向けての強固な意志統一を獲ち取ったことをまずもって報告したい。現在、政府独占は、沖縄返還を今年にひかえ、その帝国主義国家としての延命勢力拡大を必死になつてはかっている。そのことは米帝の力にアジア侵略勢力をアジアにおける反共諸国と共に、自らアジアの盟主となるべく積極的に進んでいることに明確に現われているだろう。それは、昨年の日米共同声明の実質化としてあり、国内において軍事力強化を背景にして、今着々と自らの侵略的意図を押し進めている。仲曾根構想による自国防衛は、沖縄への自衛隊配備、在日米軍基地の米軍と日本の自衛隊の共同使用という形で、ほぼ米帝との一致をみているのである。そして国内の帝国主義的再編は、マスコミ等による自主防衛、愛国心マイホーム主義等のイデオロギー攻撃、そして教育の再編も決して怠っていないのである。高校教育の48年度改定、唯一全面的掌握を行ない得ていない大学に対しては、中教審答申による大学の目的別再編成を打ち出している。我々は、このような政府の全面的政策に対して真向うから対抗していかなければならない。そして今、我々は、6月安保斗争を目前にして安保自動延長という政治焦点を消滅させられている中で、我々の方から、はっきりと攻撃をかけていかなければならない。我々は沖縄—安保—大学を明確に関連させ沖縄の基地撤去即時全面返還の闘いを主軸に安保破壊の闘いを前進させるべく、6月反安保学園セネストへ向けて闘いを構築せねばならない。

6.15と23の一週間学園セネストに向け
クノス末端からの斗争の構築を

我々は以上の点をふまえるならば、全支諸君(民青)が安保—沖縄斗争をも同列に置くのでは、政府独占の意図を粉砕しえないこととはつきりと断言する。我々の斗争の環と連帯勢力は誰なのかを明確にし、クラス末端からの組織化を行ない、その闘いの立場の下戦闘的自治会再建が語りうるのである。6月反安保全国セネストを獲得せねばならない我々は、その一環としてこの市大において断固として、6.15と6.23の一週間ストを断固として、クノス、急ぎ二の末端からの組織化によって貫徹しなければならぬし、又我々の主張する大衆的、戦闘的斗争を展開し得る全支加盟自治会を再建して行けることこの組織的中核部隊の主体的勢力を形成できるし、それこそが自治会再建の唯一の道であるだろう。そして、この斗争の正統的立場こそが将しく6月反安保斗争の全国的斗争の一環を担い得ることのできるのだ。

安保破壊
6月スト貫徹

青学共闘

全市実行委(準)

全てのクラスは青学共闘に結集せよ!